かなえ

第25号(平成25年12月1日) 医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック 千葉県松戸市日暮1-16-2 日暮ビル2階 047-312-8830 http://www.yabashirasanwa-clinic.com



坂川にかかる外環道

先月号で描いた浅間神社から54号に沿い旧葛飾橋方面に行くと坂川があります。

今回はここから建設が進む外かく環状道路をテーマに描いてみました。

松戸市小山地区の高速道路は絵にあるように高架構造で、市川方面の矢切から半地下構造になります。この環状道路は平成27年度完成を目指し、圏央道と接続(都心に用のない通過するだけの車が6割ある) そしてこの環状線は堀之内地区(市川)に北千葉ジャンクションができ、将来北千葉道路(仮称)が開通する予定らしい。なにか外環道路のコマーシャルになりましたが、ホッとする風景だけは何時の時代でも残しておきたいものです。

絵と文:松戸市在住 水彩画家 菅谷功氏

第 17 回旅行の回想 鼎会顧問 高林克日己

今年の膠原病患者さんのヨーロッパ旅行は朝日新聞に紹介されたこともあり、リピーターよりも新しい参加者が増え総勢23名となりました。しかし旅行直前に病気になったり、家人の具合が悪くなり、二人の方の参加がキャンセルになったのは残念なことです。とにかく新人が多いツアーなので、ごく典型的な見たいところに行こうということになり、ロンドンパリという定番を入れてさらにミュンヘンという自分のよく知っているところを選びました。

しかしありきたりのツアーにならないよう、ロンドン の初日はパブでビールを、二日目は大英博物



館見学組とハロッ に分かれました。 適当に思うように が行の来しさに を越すと苦痛にされる をがなりますと恐怖に をもられるが、 を越れるなりが地下 をはいれる でも、いくつもの でも、いくつもの

交通機関に乗れてそれはそれなりによかったし、翌朝パリに出発するのにバスに乗ってから一人行方不明が発見されたのもご愛嬌でした。ユーロスターでパリに向かいましたが、いつ海底トンネルを終わったのかも分からない人がいるくらいであっという間にフランスです。そしてパリの夜に今までの初めての事件が起こりました。停電です。すごい雨の中夜中の一時半過ぎ、私はオペラ座のチケットのトラブルで眠れずに仕事をしていましたが、突然真っ暗、そこはこの日に限り私だけ離れた7階の屋根裏部屋で、これではみんなのところにもいけません。結局あきらめましたが、考えてみたらCPAP(寝ているときに呼吸を助ける装置)をつけている患者さんがいて、電気が止まったら大変なことになるのでした。幸いご本人は

息苦しくて目が覚めたそうでほっとしましたが、これも適度を超えたトラブルでした。

パリから空路ミュンヘンへ。そして奥座敷ともいうべきガルミッシュにバスで移動します。



湖のすぐそばの美しい山荘風のホテルに着くと、そこはもう暖炉に火が入り槇の燃えている懐かしい香りがしました。残念ながらガルミッシュの3日間は雨が続きせっかくのアルプスも十分にみることはできませんでした。リンダーホフやノイシュバンシュタイン城を巡り、それなりに満足していただけたかと思います。私自身何度も行っていたリンダーホフの美しさに改めて感銘を受けました。ミュンへンの街に戻ってバイエルン州立歌劇場のドンジョバンニを見ましたが、今年は着物を用意された方もいて、華やかなツアーになりました。



そして最終日はオクトーバフェスト、このツアーの最大のイベントであり、ミュンヘンが国際都市となるビール祭りです。大きなテントの中の好位置でビールを飲んで見学しました。まだ昼だったのでテント内の盛り上がりはいま一つでしたが、わがツアー客にはダンスの達人もいてドイツ人に負けない盛り上がりをして今年のツアーは終わりました。



患者さんのお母様で付き添いに来られた高校の 先輩にアバウトな旅行といわれました。それがい いんだという褒め言葉でありましたが、みんなが ふらふら歩きまわるのに監視役の二人の看護師 はフラフラになったようです。とくにガルミッシュ のパルトナッハ渓谷に行ったのは想定外で、私 の気まぐれでみんな馬車に乗れたのはよかった のですが、そのあとは耳を劈く渓谷の横の細い 道を歩かされて、まさにいきはよいよいでこれも 適度を超えたトラブルでした。誰も転んで怪我を しなかったのが奇跡的ともいうべき行軍でした。 とにかくいままで17回行って大事故に至ってい ないのは皆さんの行いとつくづく私の運のよさな のだろうと感じます。保険関係などしつかりとバッ クアップ熊勢をとってはいますが、何かあったら ただ事ではすみません。私も歳をとってきて、い つまで続けられるのかわかりません。後任を名乗 り出る人がいればよいのですが、なかなかそうし た物好きはいないでしょうが、そうなると医師も全 国公募しなければならないのかと思ったりします。

三和病院建設 経過報告

三和病院建設地では、工事が順調に進んでいます。 11 月末には配筋工事と型枠工事が行われました。 地下の雨水層になる場所にはなめらかにコンクリート が打たれ、敷地内の雨水が雨水層に集められるよう なだらかな勾配がつけられています。

見せていただくたびに、建築とは美しいものだと思います。綿密な構造計算のもとに使いやすさを考えた 設計図どおりに建物が建っていく。

働いている職人さんたちの無駄のない動きや目配り。 そして現場事務所では、様々なスペシャリストが集まってよりよい建物を作るための会議や確認が行われています。



型枠工事の様子。1階の床のレベルが見えるようになってきました。



配筋作業中です。規則正しく正確に組み上げられています。

新しく三和病院のホームページができました。 こちらでは、新しく生まれる三和病院についての情報 を掲載しています。

http://www.sanwa-hsp.or.jp
クリニックのことをご覧になりたい方は今までの
http://www.yabashirasanwa-clinic.com
をご覧ください。

現在、ホームページを整備中ですので、いずれ病院 とクリニックが同じホームページでみられるようになり ます。

ブログでも建設の様子や鼎会が病院建設に向けて 取り組んでいることなどを紹介しています。

http://yabashirasanwa.blog2.fc2.com

ホームページやブログをご覧にならない方は、八柱 三和クリニックの待合室に壁新聞がありますのでご覧 ください。

八柱三和クリニック診療医師担当表

		月	火	水	木	金	±
乳腺外科 1	午前	渡辺修	渡辺修	(手術)	渡辺修	渡辺 修	渡辺 修
	午後	渡辺修	渡辺修		(手術)	渡辺 修	
乳腺外科 2	午前				阪口志帆		
	午後				(手術)		
整形外科	午前					浅野健一郎	早田浩一朗 (2, 4)
	午後	小酒井治 (2,4)			小林洋平	浅野健一郎	
内科 1	午前	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫
	午後	斉藤丈夫		斉藤丈夫	(在宅)	斉藤丈夫	
内科 2	午前	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	杉崎良親
	午後		仲野総一郎	渡辺聡枝	渡辺聡枝	(高林克日己)	
内科3	午前	鈴木明子	鈴木明子	鈴木隆弘		鈴木明子	高林克日己
	午後	鈴木明子	鈴木明子	藪下寛人	鈴木明子	鈴木明子	
内科 4	午前						渡辺聡枝 (1, 3, 5)
胃カメラ	午前		横溝 肇		鈴木明子	渡辺英二郎	
大腸カメラ	午後		横溝 肇			渡辺英二郎	

年末年始休診のお知らせ

平成 25 年 12 月 30 日(月)~平成 26 年 1 月 3 日(金)まで休診いたします。 平成 26 年 1 月 4 日(土)より通常通りの診療を行います。

編集後記:あっという間に1年の締めくくりの月になりました。今年は鼎会にとって病院建設の実現という大きな山場があり、いつもの年よりも早く時が過ぎて行ったように感じます。プロポーザルで大成建設さんに設計施工をお願いすることに決めたのが、今年の1月。パネル・模型を使った熱意のあるプレゼンテーションに感激したことを覚えています。その後、設計の方々と何度も打ち合わせをし、時には夜遅くまで議論をしながら、より良い建物になるよう心を込めて進めてきました。今それが、ひとつひとつの工程を経て建物になっていくのを見ています。 鼎会の病院建設は、病床認可を求める署名から始まりました。患者さんや地域の方々からいただいた2万2千分を超える署名が、今建設中の三和病院のいしずえです。感謝申し上げます。総務:中野三代子